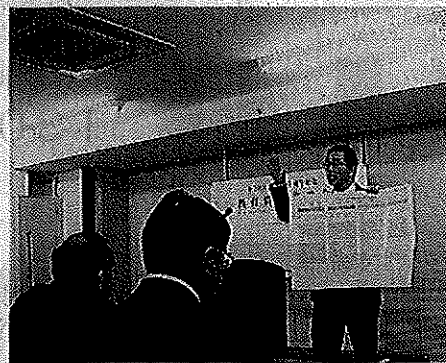


# ESDで初中教育を変える

## アクティブ・ラーニングの推進も

15周年「エヌエムが創立教育情報交換会」

学校と社会（企業や団体）のシヨイント役として「子どもたちの未来のために」「がんばる先生」を応援する事業を展開している（株）エヌエム（長岡検代表取締役、東京都中央区八丁堀）は2月24日、中央区内で教育関係者を集めて、同社創立15周年「教育情報交換会」を開き、昨今、教育界で注目されている「ESD



と題してレクチャーし、機にした社会の変化の文科省、中教審が推進する手島校長は冒頭、持続可能な社会の実現というESDの可能性に言及、入@ESDカレンダーの「ほぼ100%可能性はない」としながらも、ESDが日本や社会の教育を変えていく可能性については、「見通しは、少し出てきた」とし、具体的

「ほぼ100%可能性はない」としながらも、ESDが日本や社会の教育を変えていく可能性については、「見通しは、少し出てきた」とし、具体的

レクチャーする手島利夫校長  
には、①エヌエムスクール（日本は現在、約800校が加盟）の発展とその影響のエネスコスクール世界大会（昨年11月、岡山市で開催）を契機にした社会の変化の文科省、中教審が推進する

本学の教育が大きく変わってこれるのではないかと、児童生徒自身が学び合い、伝える教育「アクティブ・ラーニング」につながるのではないかと、特に、学習・指導上役立つESDなど述べた。このあと、会場との質疑応答に移り、「ESDの学習用の教材は、現場で使われることが望まれる。そのためには教員の資質向上と校長の前の向きな姿勢がカギとなる。下村博文文部科学大臣もESD教育の導入に熱心で、次期学習指導要領の改訂に反映されるものと期待している」などの意見があった。

「ESDの力には、熱心で、次期学習指導要領の改訂に反映されるものと期待している」などの意見があった。

「ESDの力には、熱心で、次期学習指導要領の改訂に反映されるものと期待している」などの意見があった。